施工説明書

アメージュM脱臭便器

※品番は代表的なものを例示
BC-120S
DT-1821SQ

安全のために守ってください！

アメージュM脱臭便器を安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

警告 ・・・ 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意 ・・・ 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

⚠警告

水につけたり、水をかけないでください。

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

⚠注意

陶器は割れものです。
●施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。
●施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。
※破損部でケガをしたり、漏水により家財等を濡らす恐れがあります。

バスルーム等の水のかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気の多い場所では、使用しないでください。
※火災・感電の原因となります。

上水道以外は使用しないでください。
※機械の内部腐食により、ショート・発火の原因となります。

交流100V以外では使用しないでください。
※火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
※感電・ショート・発火の原因となります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
※感電やショートして発火することがあります。

止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。
※漏水により家財等を濡らす恐れがあります。

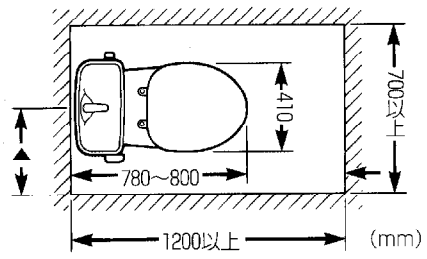
施工前のご注意

■電源コンセントは？

●電源はAC100Vの電気配線をしてください。
●電源コードの長さは1.8mです。
コンセントは電源コードの届く範囲で、床面より高く水のかからない位置に設置してください。
※配線工事は電気工事店にご依頼ください。

■必要なスペースは？

必要なトイレスペースは下図のとおりです。



※ ▲はシャワートイレ取付けの場合のみ420mm以上

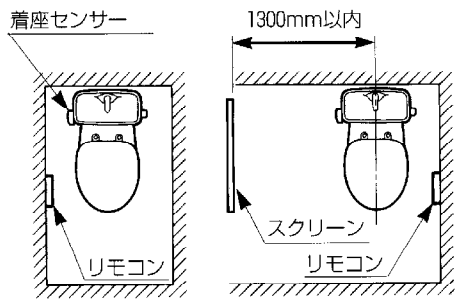
■排水芯によって施工方法が変わります。

この便器は、標準の排水芯（後壁から200mm）以外にも120,130,210mmに対応できますが、排水芯によって排水ソケットの設置方法が異なります。

■リモコンの取付位置は？

（流せるもん付の場合）

リモコンはできる限り、着座センサー側の壁に取り付けてください。



必要上、反対側の壁に取付ける場合は、必ず取付位置で受信することを確認してから行ってください。また、着座センサー側の壁が洗面台などで便器から距離がある場合は、受信しない場合があります。このようなときは便器中心から1300mm以内に信号反射用のスクリーンを設置してください。
スクリーンの寸法は高さ1100mm以上、奥行きはリモコン設置位置までの距離を確保してください。（ただし、壁の仕上げ・色などの条件により多少異なりますのでご注意ください。）

施工時のご注意

■サプライ管を切断したら

サプライ管を切断したら、必ず水洗いなどで切粉を完全に取り除いてから接続してください。
※故障の原因となることがあります。

■流せるもん付の場合

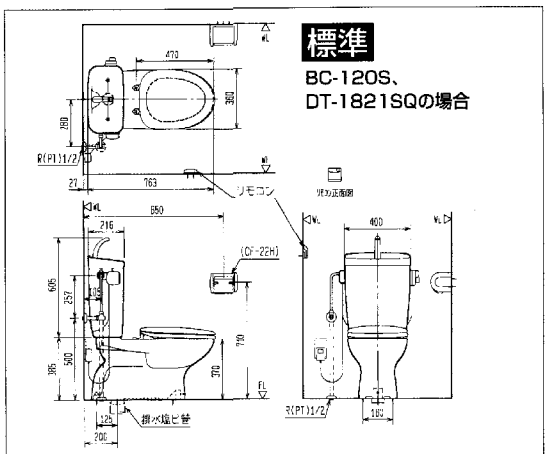
●流せるもん本体を持ってロータンクを移動させないでください。
※破損する恐れがあります。

施工後のご注意

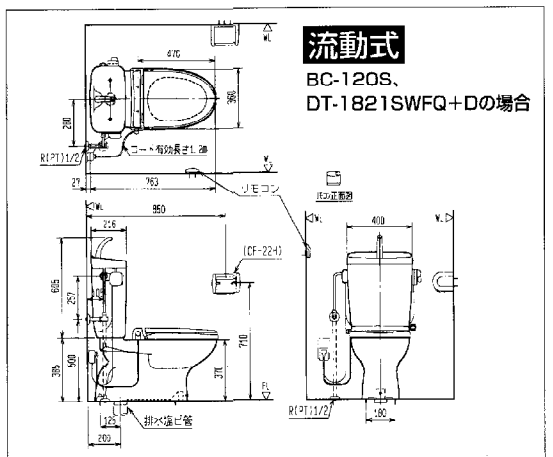
■長期間使用しない場合は

施工後、長期間使用しない場合は水抜きを行ってください。
※水を抜かないと冬期には凍結して**故障する恐れがあります。**
最終ページをご覧ください。

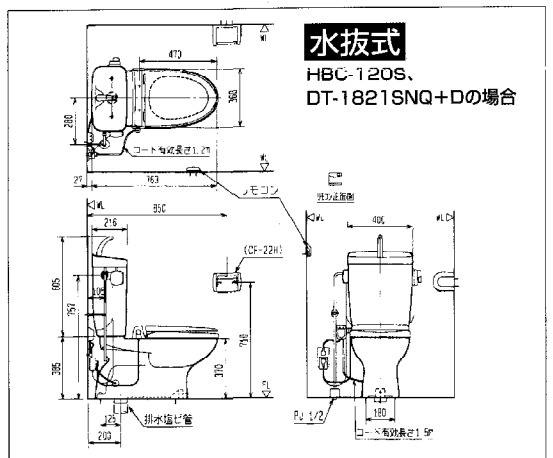
標準施工図



※ リモコンの取付位置は「施工前のご注意」を参考にしてください。
※ 床給水の場合、給水管は破線表示となります。
※ 紙巻器（CF—22H）は別途ご用意ください。



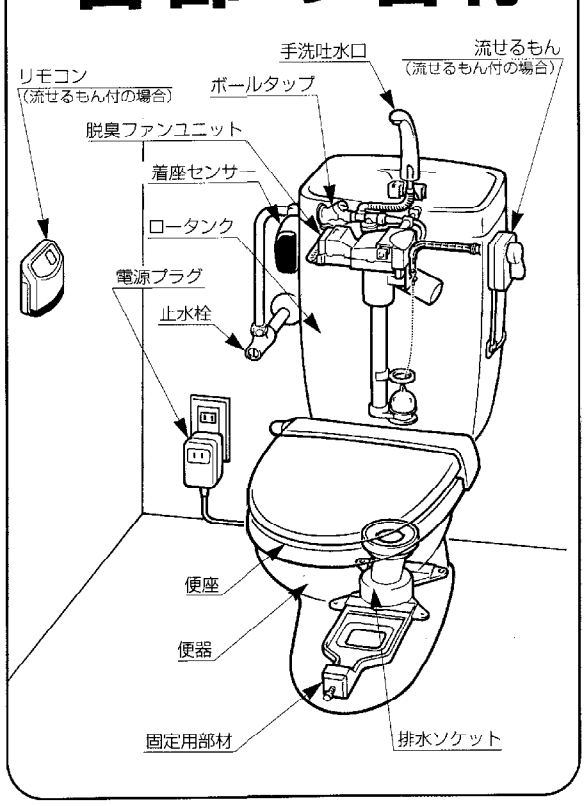
※ リモコンの取付位置は「施工前のご注意」を参考にしてください。
※ 床給水の場合、給水管は破線表示となります。
※ 紙巻器（CF—22H）は別途ご用意ください。



※ リモコンの取付位置は「施工前のご注意」を参考にしてください。
※ 紙巻器（CF—22H）は別途ご用意ください。

部品の確認 （梱包内容を確認してください。）

各部の名称



株式会社INAX

本　　社 ☎0569-35-2700
横浜支社 ☎045-242-1710
甲信支社 ☎0263-36-2166
京滋支社 ☎075-222-1794
札幌支社 ☎011-271-1701
千葉支社 ☎043-227-8171
名古屋支社 ☎052-201-1717
広島支社 ☎082-223-1710
東北支社 ☎022-263-1710
埼玉支社 ☎048-668-1177
静岡支社 ☎054-251-1710
四国支社 ☎0878-21-1701
東京支社 ☎03-5541-7111
東関東支社 ☎028-637-3379
北陸支社 ☎0762-64-1710
福岡支社 ☎092-282-3151
西東京支社 ☎0425-27-3341
関越支社 ☎0273-27-1793
大阪支社 ☎06-539-3500
南九州支社 ☎096-322-1794

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

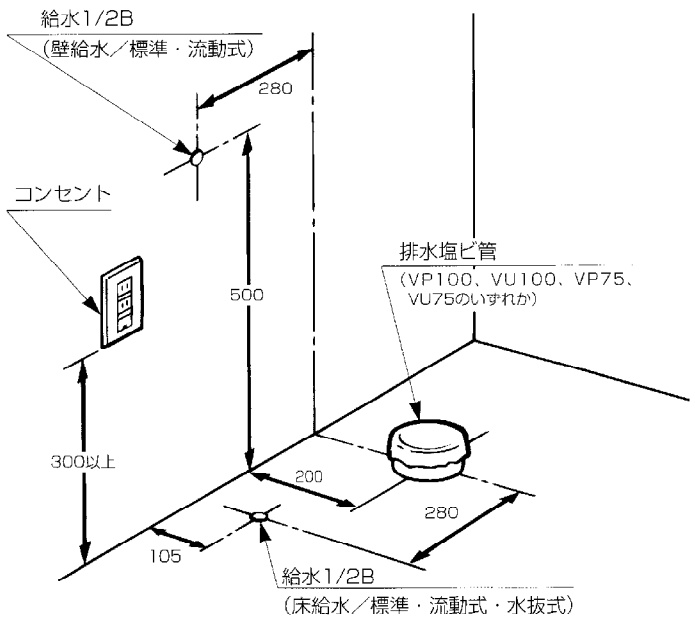
注意	●この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。 ●施工後は必ず試運転を行ってください。 ●お客さまの方に必ず本書と取扱説明書をお渡しください。 お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

施工方法

1 給排水の位置決めと取出し

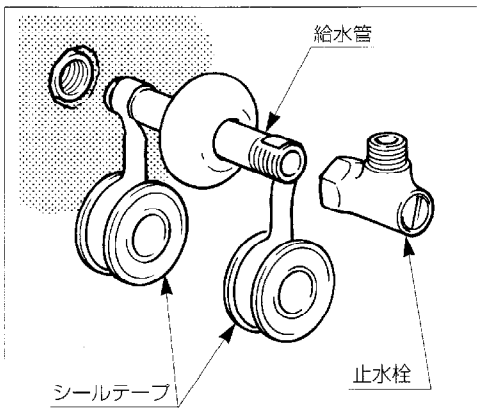
■右図にしたがって、給水管と排水塩ビ管の位置決めと取出しを行います。

注意1 参照
参考1 参照



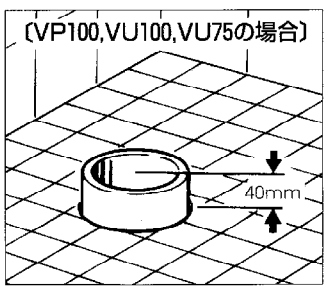
2 止水栓の取付け (標準・流動式の場合)

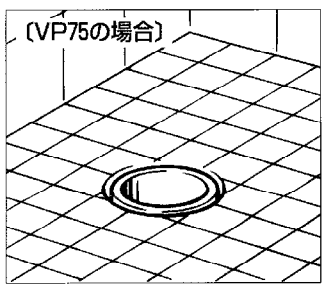
壁・床仕上げ完了後、壁面に取り出した給水管のねじ部にシールテープ等のシール材を巻き付け、止水栓を取り付けます。



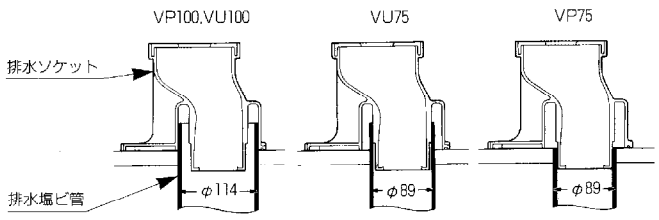
3 排水塩ビ管の切断

以下のように排水塩ビ管を切断します。
VP100,VU100,VU75の場合：床仕上面より高さ40mm
VP75の場合：床仕上面 注意2 参照





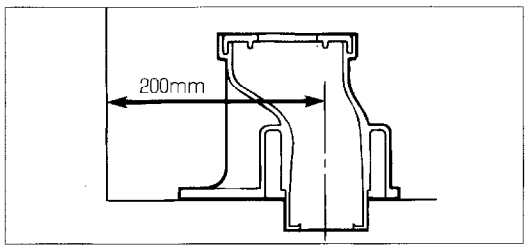
排水塩ビ管と排水ソケット

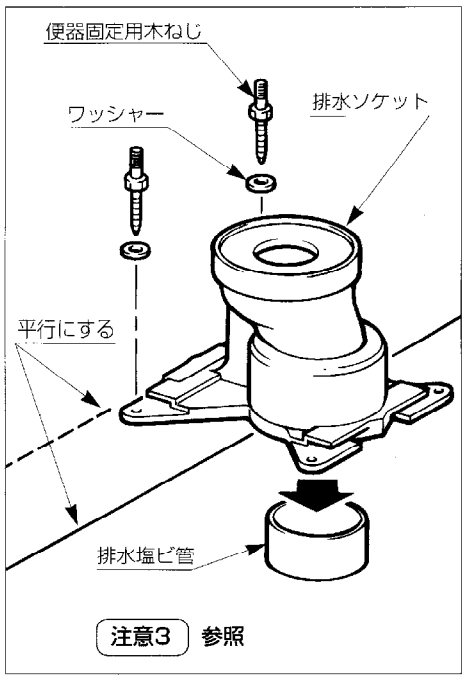


4 排水ソケットの取付け

(1) 排水塩ビ管および排水ソケットの排水口部周囲をきれいにします。
(2) 塩ビ管用接着剤にて排水ソケットを直接排水塩ビ管に接着します。
排水芯の寸法によって**排水ソケットの向きが異なり**ます。下図を参照してください。
(3) 便器固定用木ねじで排水ソケットを床に固定します。
床がコンクリートの場合、下穴（φ11、深さ55）をあけ、別売のAYボルト（AY-86D）を使用します。

※排水芯200mmの場合は下図のようになります。
200mm以外の場合は 参考2 を参照してください。

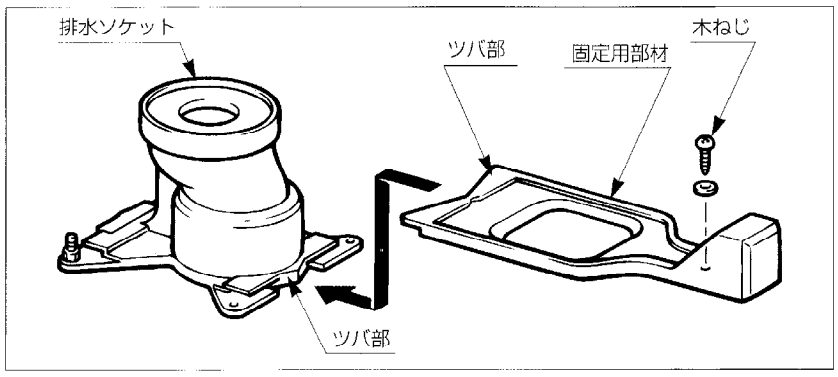




注意3 参照

5 固定用部材の取付け

(1) 排水ソケットのツバ部に固定用部材のツバ部をはめ込み、固定用部材の位置決めをします。
(2) 固定用部材を木ねじで固定します。
床がコンクリートの場合、下穴（φ11、深さ55）をあけ、別売のAYボルト（AY-23W）を使用します。

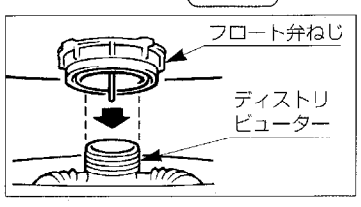


6 便器の取付け

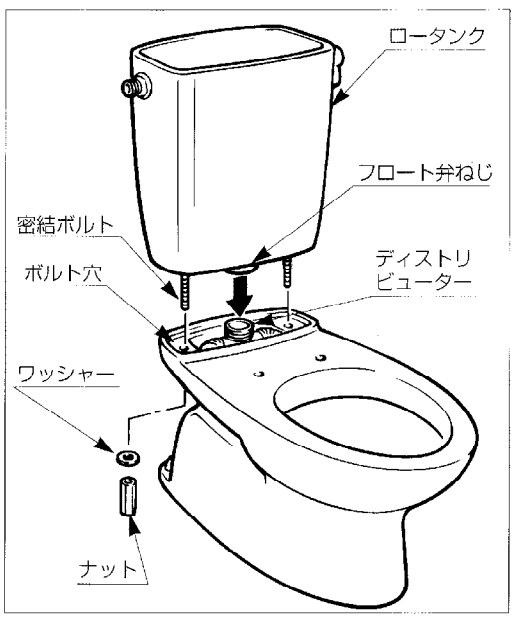
(1) 便器の排水口を排水ソケットの排水ゴムジョイントに差し込み、固定ナットにて便器を固定し、化粧キャップ（大）を取り付けます。
(2) 便器前方から便器固定用木ねじにより完全固定し、化粧キャップ（小）を取り付けます。 注意4 参照

7 ロータンクの取付け

(1) ロータンク下面にある密結ボルト2本と便器のボルト穴を合わせてロータンクを設置します。このときフロート弁ねじの内径部にディストリビューターの先端が入り込むようにロータンクをおろします。
注意5 参照



(2) ワッシャー、ナットでロータンクを固定します。ナットは、左右交互に少しづつ締め付けます。



注 意 1

- **VP75以外の排水塩ビ管の取出しは、仕上げ面より高さ40mm以上を確保してください。**
- **便器を取り付けるまで、異物が混入しないように給水管にはプラグ（LF-7Tを推奨）、排水塩ビ管にはビニール袋等でカバーをしてください。**
- **トイレ内に電源がない場合は、別途電気工事が必要です。**

参 考 1

リフォーム等の場合、標準の排水芯200mmの他に120,130,210mmの排水芯にも対応できます。

これらの排水芯を持つ、主要な便器は次の通りです。

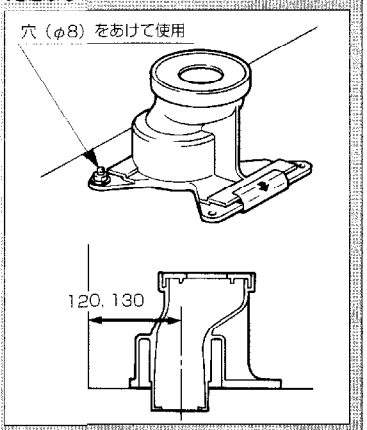
- INAX 120mm カスカディーナ
  200mm アメージュシリーズ
- TOTO 130mm CS760
  200mm New CSシリーズ
  210mm C725B, C713BH

注 意 2

- **切断面は床と平行になるように切断してください。**
  ※切断位置が正確でないと漏水・臭気発生の原因になります。

参 考 2

排水芯210mmの場合は、200mmの場合と同じ施工方法です。
120,130mmの場合は排水ソケットの向きが異なりますので下図を参照してください。



注 意 3

- **排水塩ビ管と排水ソケットの接着は、確実に行ってください。**
  ※接着が不十分ですと漏水、臭気発生の原因になります。

注 意 4

- **陶器に対するねじは締めすぎないようにしてください。**
  ※陶器が割れる恐れがあります。

注 意 5

- **ディストリビューターは、必ずフロート弁ねじの内径部に確実にはめ込んでください。**
  ※漏水の原因になります。

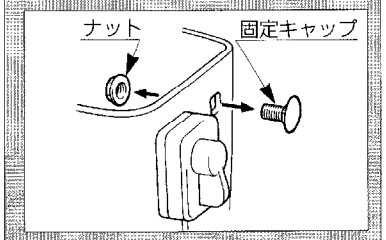
注 意 6

- **サプライ管のツバ部は絶対に切断しないでください。**
- **サプライ管の切断は必ずパイプカッターを使用し、切断後は必ず水洗いなどで完全に切り粉を取り除いてから接続してください。**

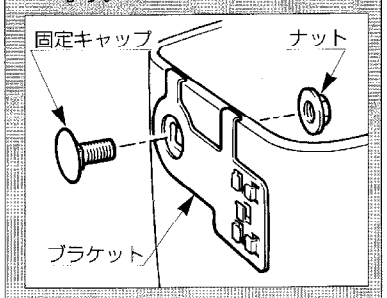
参 考 3

左給水を右給水に変更する場合

(1) ロータンク右側の固定キャップとナットを外し、この穴にボールタップを取り付けます。



(2) (1)で取り外した固定キャップとナットを左側の穴に取り付け、着座センサーのブラケットを固定します。



注 意 7

- **ロータンクフタが浮いたり、ぐらつく場合は、差し込み不十分ですので、再度差し込み直してください。**
  ※漏水の原因になります。

注 意 8

- **かんたんナットを締め付けた後、便座が便器に確実に固定されていることを確認してください。**

8 給水管への接続

(1) サプライ管をボールタップに仮組みします。

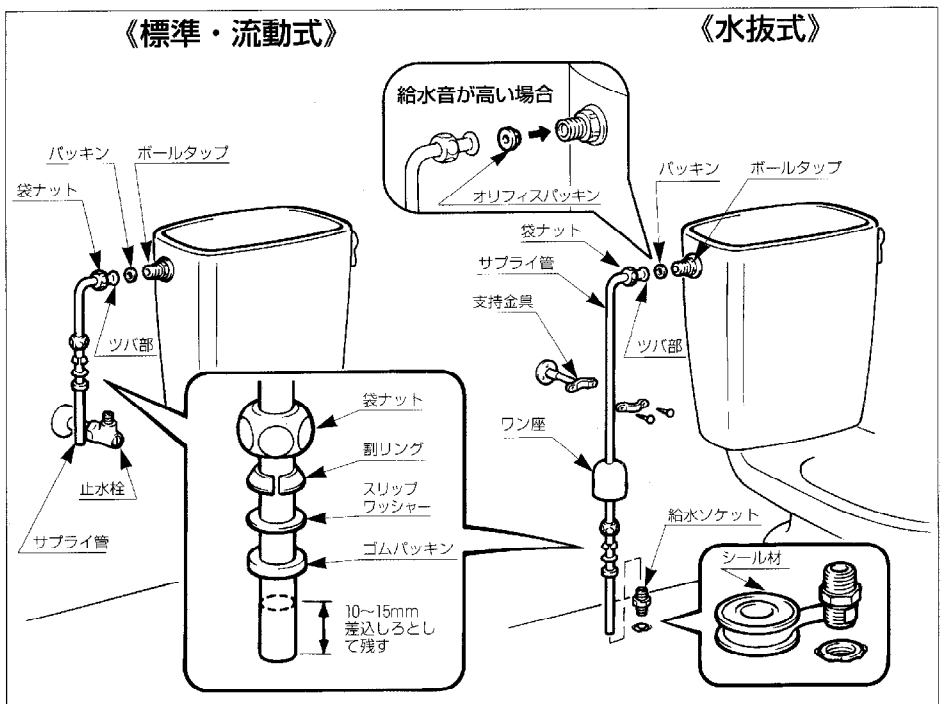
(2) 止水栓（または給水ソケット）に合わせ、差込しろとして10～15mm残してサプライ管を切断します。 注意6 参照

(3) サプライ管を止水栓とボールタップに接続します。このとき、ボールタップが回転しないように注意します。

※ボールタップが回転すると浮玉がタンク側壁と干渉して止水不良の原因になります。

※水抜式の場合、サプライ管を支持金具にて壁面に支持します。

※給水圧が高くて給水音が気になるときは、付属のオリフィスパッキンを使用してください。（水抜式の手洗無の場合は、オリフィスパッキン付が標準となります。）



左給水を右給水に変更する場合

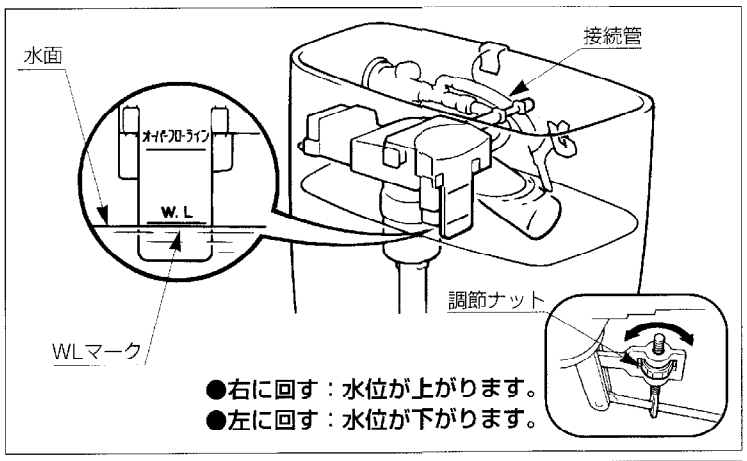
現場において左給水から右給水に変更する場合、着座センサーのブラケットを固定キャップで固定する必要があります。

9 止水位の確認

(1) **手洗付の場合**は、接続管を下に向けます。

(2) 止水栓を開けてロータンクに通水します。

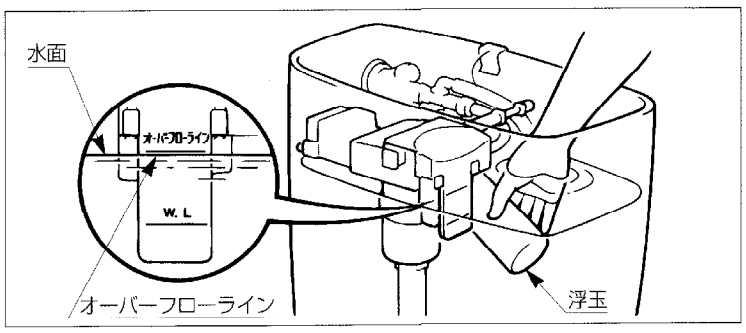
(3) 給水が終ったらロータンク内の水位（水面）が脱臭ファンユニットの「WL」マークに合っていることを確認します。
水位が「WL」マークに合っていなければボールタップの調節ナットで水位を調節します。



10 止水栓の調節

(1) ボールタップの浮玉をいっぱいに押し下げて通水します。

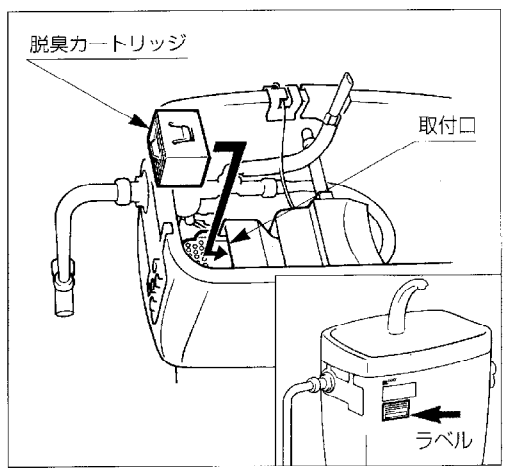
(2) 水面が脱臭ファンユニットのオーバーフローライン以下に合わせるように止水栓を回して調節します。



11 脱臭カートリッジの装着

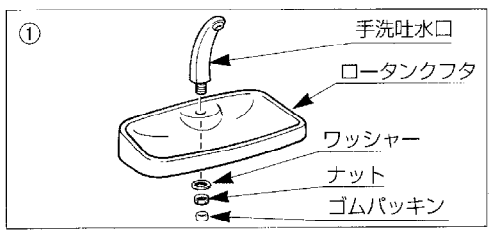
(1) 脱臭カートリッジを取付口に差し込みます。

(2) 交換時期の目安として日付ラベルに日付を記入して、ロータンクのラベルなどに張り付けます。



12 ロータンクフタの取付け

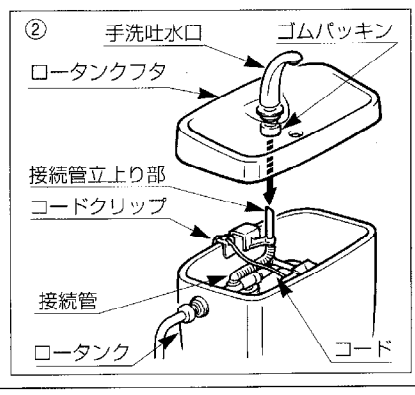
(1) **手洗付の場合**は、手洗吐水口をロータンクフタに右図①のように組み付けます。



(2) 右図②のようにコードクリップを取り付け、脱臭ファンユニットのコードを引っかけます。

(3) ロータンクフタをロータンクに取り付けます。

手洗付の場合は、手洗吐水口のゴムパッキンに接続管立上り部を確実に差し込んでください。 注意7 参照

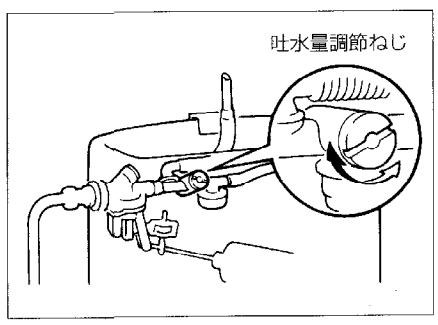


13 手洗吐水量の調節（流動・水抜式の場合）

(1) 洗浄ハンドルを操作して便器洗浄を行い、手洗吐水口から吐水させます。このとき、飛沫があればロータンクフタを外します。

(2) 吐水量調節ねじを回して、飛沫がなくなるくらいに調節します。

※標準タイプの手洗吐水量が多い場合は止水栓を絞って調節します。

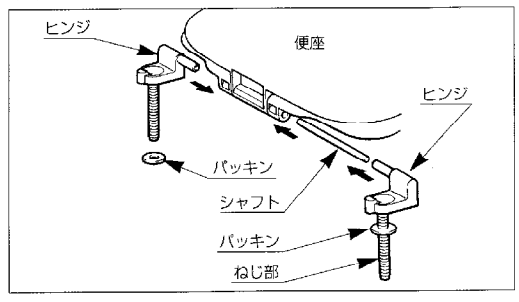


14 便座の取付け

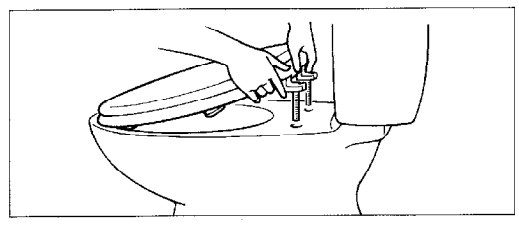
■普通便座の場合 注意8 参照

(1) ヒンジ（右、左）とシャフトを便座に取り付けます。

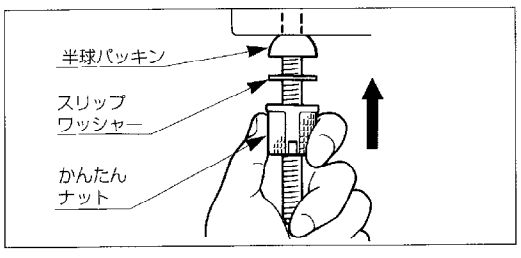
(2) パッキンをねじ部の根元まで通します。



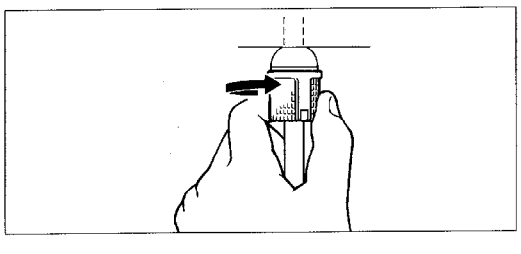
(3) ねじ部を便器の便座取付穴に差し込みます。



(4) ねじ部に半球パッキンとスリップワッシャーを通して、かんたんナットでいっぱいまで押し込みます。



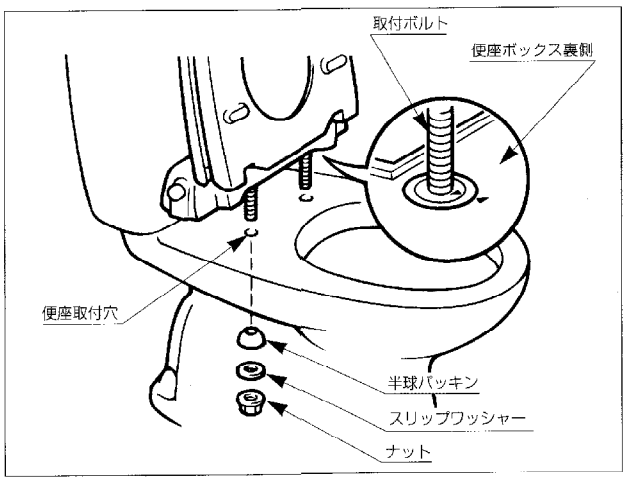
(5) 便座と便器の位置合わせをしてから、かんたんナットを手で強く締め込みます。



■暖房便座の場合

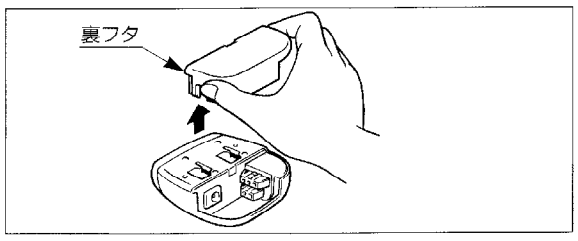
(1) 取付ボルトの▲印と便座ボックス裏側の▼印が合うように取付ボルトを差し込みます。

(2) 便座を便器の便座取付穴に差し込み、下から半球パッキンとスリップワッシャーを取り付け、ナットで締め付けます。

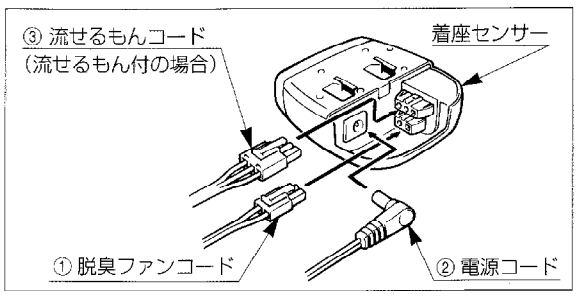


15 コード類の接続と着座センサーの取付け

(1)着座センサーの裏フタを外します。

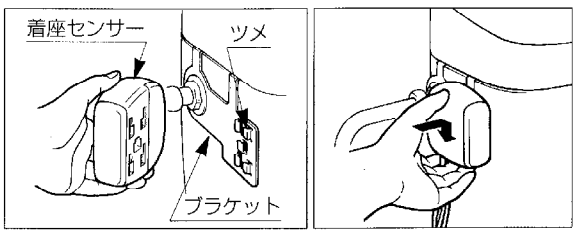


(2)脱臭ファンコード、電源コード、流せるもんコードの順番で接続し、裏フタを取り付けます。

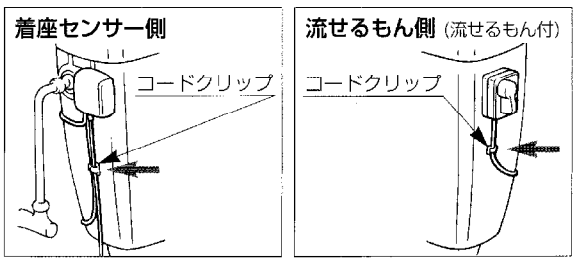


(3)ロータンク側面にある着座センサーブラケットのツメを着座センサーのツメ穴に合わせます。

(4)着座センサーを押し下げて取り付けます。

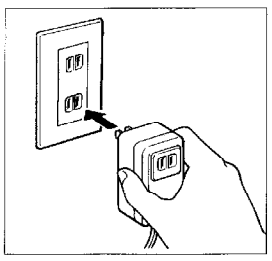


(4)下図にしたがってコードを取り回し、コードクリップで固定します。



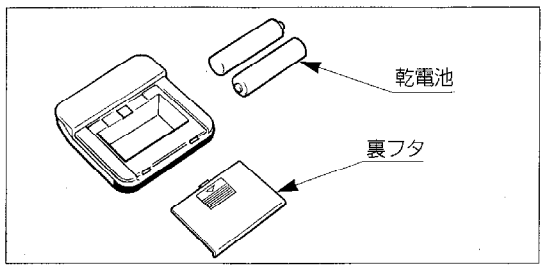
16 電源プラグの取付け

電源プラグを交流（AC）100Vのコンセントに根元まで確実に差し込みます。

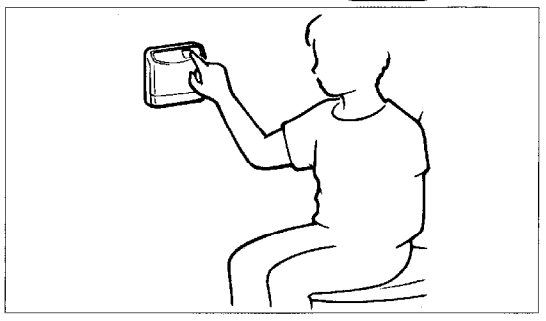


17 リモコンの取付け（流せるもん付の場合）

(1)リモコンの裏フタを開け、付属の乾電池（単三2本）を入れます。 注意9 参照



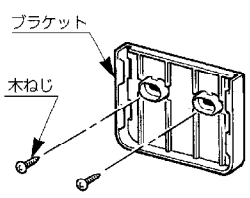
(2)リモコンを取り付けようとする位置に置き、実際に便座に座って流すスイッチを押します。このとき、洗浄ハンドルが自動で回って便器洗浄を行うことを確認します。 注意10 参照



(3)ブラケットを壁の材質に合わせた施工方法で、取付位置に取り付けます。

●厚みが5mm以上の合板壁の場合

ブラケットを付属の木ねじでしっかりと固定します。

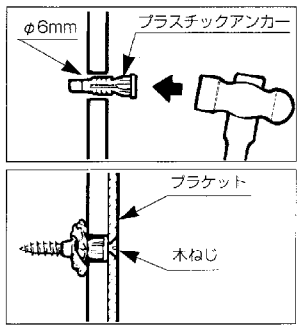


●厚みが5mm以下の合板壁および石膏ボード壁の場合

①直径6mmの下穴を開けます。(石膏ボードは直径5mm)

②ハンマー等を使って、付属のプラスチックアンカーを軽く打ち込みます。

③ブラケットを付属の木ねじでしっかりと固定します。



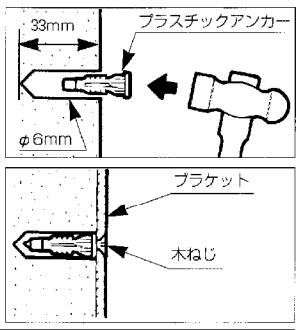
木ねじを締め付けていくと、初めは堅く、一旦ゆるくなって再び堅くなります。

●コンクリートの場合

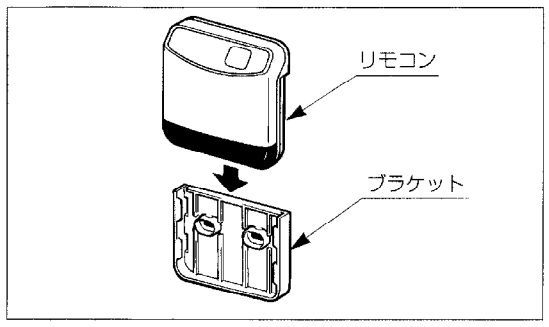
①直径6mm、深さ約33mmの下穴を開けます。

②ハンマー等を使って、付属のプラスチックアンカーを軽く打ち込みます。

③ブラケットを付属の木ねじでしっかりと固定します。

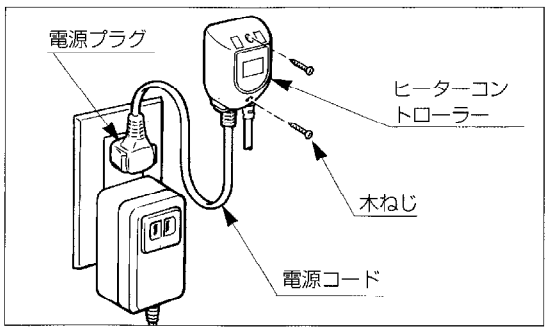


(4)リモコンをブラケットの上に合わせ、下へ押し下げてリモコンを取り付けます。

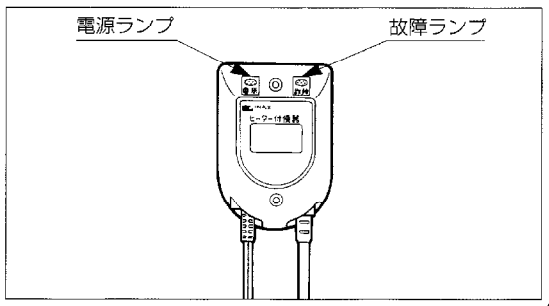


18 ヒーターコントローラーの取付け（ヒーター付便器の場合）

(1)電源コードの長さを考慮してヒーターコントローラーの取付位置を決め、木ねじにて固定します。



(2)電源プラグを交流(AC) 100Vのコンセントに差し込み、電源ランプが点灯(オレンジ色)、故障ランプ(赤色)が消灯していることを確認します。

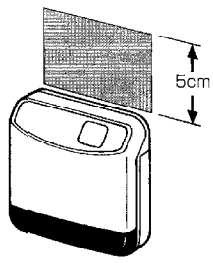


注 意 9

- 乾電池のプラスとマイナスの向きを間違いのないように入れてください。
- 乾電池は、新しいものと古いものを混ぜて使用しないでください。

注 意 10

- リモコン取付位置の上方に、リモコンを脱着する際に必要なスペースが充分あることを確認してください。



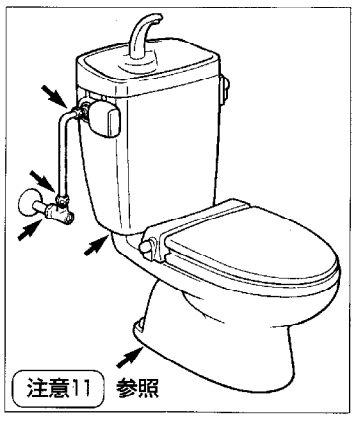
試運転

施工が完了したら、次の要領で試運転を行います。

1 水漏れ点検

(1)洗浄ハンドルを操作して数回洗浄し、各接続部に漏水がないことを確認します。
同時に、フロート弁の開閉、ボールタップの動作、洗浄ハンドルの戻り具合等ロータンク内部金具に不具合がないことを確認します。

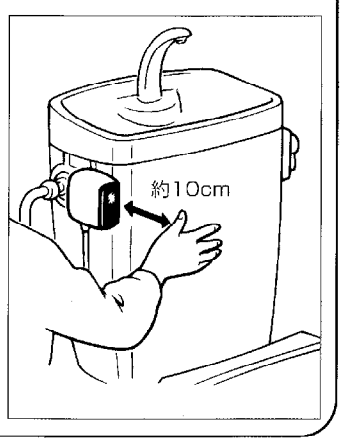
(2)便器鉢内に長さ約760mmのトイレットペーパーを丸めたもの7個を入れ、これが1回の洗浄で排出できることを確認します。



2 脱臭機能の確認

(1)着座センサーの前10cmくらいのところに手をかざすと、脱臭ファンの作動音と着座センサーの赤ランプが点灯することを確認します。

(2)着座センサーから手を離して赤ランプが消灯し、約1分後に脱臭ファンが停止することを確認します。

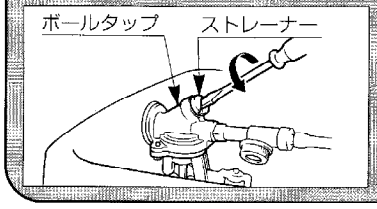


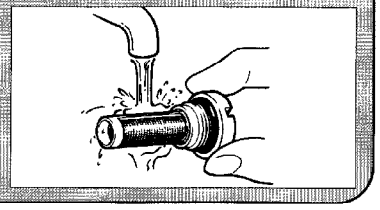
注 意 11

- 給排水接続部の水漏れ点検は、数回繰り返して水を流さないと確認が困難な場合があります。

水の出方が悪い場合は、ストレーナーを掃除してください。

(1)止水栓を閉めて、ロータンクフタを外します。
(2)⊖ドライバー等を使ってボールタップからストレーナーを外します。
(3)ストレーナーを掃除し、ボールタップに取り付けます。
(4)施工方法 9 ～ 13 に従って止水位の確認や手洗吐水量の調節をします。





お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合の注意

お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。
※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

(1)止水栓を閉めて、ロータンクへの給水を止めます。
（寒冷地用水抜式は、室内の水抜栓を操作します。）

(2)ロータンクの洗浄ハンドルを操作して、ロータンク内の水を抜きます。

(3)電源プラグをコンセントから抜きます。